

栃木県吹奏楽連盟<季刊>広報誌 2010年3月号

吹奏太郎



目

次

★理事長 卷頭言 「ガンバレ日本！ ガンバレ吹奏楽！」	1
栃木県吹奏楽連盟理事長 石塚 武男	
★ 1. 平成21年度 「指導者実技研修会・指揮法講習会の報告」	2
栃木県吹奏楽連盟副理事長 研修部長 岩原 篤男（真岡高校）	
★ 2. エリック・ミヤシロ E M B A N D スペシャルライブ in 宇都宮 及び E M B A N D メンバーによる楽器別クリニック 報告	4
★ 3. 平成21年度 「第15回東関東吹奏楽アンサンブルコンテスト」報告	4
主催 東関東吹奏楽連盟 会場 千葉県君津市民文化ホール	
(1) 夢の舞台へ 一般の部今市ウィンドアンサンブル 木管七重奏 第15回東関東吹奏楽アンサンブルコンテスト 金賞 全国大会へ	
(2) 日光市立今市第三小学校プラスバンド部金管八重奏 ①第15回東関東アンサンブルコンテストに出場しての感想 「大切な私の思い出」 日光市立今市第三小学校プラスバンド部 6年 上村 紗祈 ②日光市立今市第三小学校プラスバンド部の東京ディズニーシーでの演奏報告 「あこがれのステージ」 日光市立今市第三小学校プラスバンド部 6年 斎藤佳那子	
(3) 第15回東関東アンサンブルコンテストに参加して 栃木県立今市高等学校吹奏楽部 顧問 柴田 高志	
★ 4. 第8回中学生・高校生管打楽器ソロコンテスト結果について	6
★ 5. 講習会・クリニック情報	7
★ 6. コンサート情報	8
★編集後記	9
栃木県吹奏楽連盟副理事長 広報部長 三橋 英之（作新学院高校）	

理事長 卷頭言

「ガンバレ日本！ ガンバレ吹奏楽！」

栃木県吹奏楽連盟理事長 石塚 武男

バンクーバーオリンピック冬季大会に感動しつつ執筆しているが、世界最高の大会に出るには並々ならぬ努力と練習があつただろうと思ひながらTVを観ている。

冬の大会に向けての、一番大変な練習の季節って何時だろう。映し出される選手の練習状況を見ていると、夏場であることを再確認させられた。雪のない、氷のない、暑いところで、そのスポーツに関係のなさそうな体力つくりをしている姿を見ていると、さぞ、辛いことであろうと涙ぐむことさえある。

吹奏楽にもやはり共通するものがあるのでないか！

吹奏楽の本番って、夏場のコンクールが年間で一番目指していることでもある。大会は夏場なので、冬季大会の選手たちと違い、吹奏楽は冬場の練習が一番大切であり、また、辛いことなのかもしれない。目的の遠い冬場に、どのように、いかに練習したかが、夏の結果を表すこととなるであろう。

また、コーチや指導者によって選手たちは大きく変わり左右されていることも、選手たちの言葉や行動に映し出されている。

私たち吹奏楽指導者も子どもたち（団員たち）にとっては、なくてはならならないコーチや指導者なのである。

世界一を目指す選手たちは特殊なことと考えがちであるが、共感することがたくさんある。子どもたちにやる気を出させるのも、上手にさせるのも、音楽が好きにさせるのも、音楽を続けさせるのも、私たち指導者によって左右しているのかも知れない。

私たち指導者は自信を持って、いや、自信を持てるように日々自己研鑽をして、子どもたち（団員）の先を読んで、練習計画や毎日の練習に励むことが大切であると、つくづく感じさせられた。

3月21日のリーダー講習会に埼玉栄高校吹奏楽部を招いて行うので勉強いたしましょう。

平成21年度 指導者実技研修会・指揮法講習会 報告

栃木県吹奏楽連盟副理事長（研修部部長） 岩原篤男



- 1 日時・日程 平成21年11月23日（祝・月）10：00～16：00
- 2 内容 テーマ～明日から誰でも振れる指揮～
吹奏楽指導者の合奏指揮における基本的な指揮の方法や応用など
実際にピアノ伴奏を前に、講師による個別指導を受講します。
基本から応用へ、明日には生徒の前にレベルアップしたご自身を見せられます。
- 3 会場 宇都宮市文化会館 4F 第1練習室
- 4 主催 社団法人 日本吹奏楽指導者協会（JBA）
- 5 管理 社団法人 日本吹奏楽指導者協会（JBA）関東甲信越支部
- 6 共催 栃木県吹奏楽連盟
- 7 講師 紙谷一衛 ピアノ伴奏 永野理佳先生
プロフィール
15歳から斎藤秀雄氏に指揮法を学び、19歳の時に東京フィルハーモニー交響楽団を指揮してデビュー。桐朋学園大学・東京音楽大学で教鞭をとり多数の有能な指揮者を輩出する。指揮活動は国内の演奏会にとどまらず、ドイツ・イギリス・フランス・ロシア・アメリカでも絶賛を浴びた。郵政中央吹奏楽団を現在まで40数年にわたり指揮している。
現在 日本吹奏楽指導者協会東京部会長を務める。

8 講習に使用した資料並びに作品

- 資料 ◎ 今回の講習のために神谷先生が用意された「指揮法講習会」
◎ 今までの講習会で繰り返し使用した「指揮法のまったくの基礎」
- 楽譜 ◎ 「さすらい人」・・・以前の講習でも使用した作品
◎ 「こうもり」・・・"八日あまりもただ一人で"・・・序曲の一部のピアノ譜
◎ 「ADAGIO」 Haydn
◎ 「FIBLANDIA」・・・コンデンス ピアノ譜

今年で4年目を迎えたこの講習会は、日本吹奏楽指導者協会（JBA）と共に計画してきました。しかし諸般の事情により今回でこの企画は打ち切りとなることを最初にご報告致します。この会を運営するにあたり関係各位の皆様には、大変ご協力いただきましてありがとうございました。この書面をもって御礼申し上げます。

今回の講習に於いて、簡単ですが当日の内容等をここに報告致しますと共に、参加された先生方のアンケートをまとめたものを報告させて頂きます。今年も、天候にも恵まれ秋のさわやかな一日を宇都宮市文化会館に県内各地より朝早くからお集まり頂きました。連続の先生や今回初めて受講する先生など講演開始前より期待あふれた会話が飛び交っていました。午前中は、基礎を中心に休み時間もなしで熱心に研修されていました。午後は、特徴有る各作品について歌心を中心にいかに指揮で表現するかを追求した講習となりました。



指揮法講習会参加者アンケート並びに感想より (回収11名)

1. あなたは現在、いずれかの団体を指導されていますか 小学校 4 中学校 3 高校 4

2. 講習会を主催している社団法人・日本吹奏楽指導者協会についてご存じですか

- ① 会員である 2 ② 知っている 6 ③ 聞いたことがある 3 ④ 知らない 0

3. この講習会を何でお知りになりましたか

- ① ダイレクトメール 9 ② JBAホームページ 1 ③ 知人・先生の紹介 0
④ その他 (栃吹連からの案内) 1

4. 本講習会への参加は何回目ですか

- ① 初めて 4 ② 2回目 3 ③ 3回目 2 ④ 4回目以上 2

5. (前項で2回目以上のかたのみお答え下さい。)

前回までの本講習会を受講して、具体的な成果があればお聞かせ下さい。

- 習ったことをすぐに忘れてしまい申し分けないと思っております。
○ 忘れてしまったことを思い出したり、くせを直していただいて、感謝しています。
○ 一拍目以外の拍は上向きにただ上げてはいけないこと。打つことより上向きへの意識を持つこと。
○ 自分の指揮を客観的にみることができないので大変勉強になった。

6. 本講習会の内容について、ご感想を

- とにかくすばらしいです。音楽表現の大切さが身にしました。本物の指揮を知ることができました。
○ 初心者の為、自己流でやっていました。 ○ わかりやすく、温かな講習会でした。
○ 講習会は、経験を積んだ方が多いと思っており、場違いかと思っていた。でもそうではなかった。
○ 先生の丁寧なご指導で気づかせていただいた事が多く、大変勉強になりました。
○ 1年間かけて練習してきましたがまだまだ特に「脱力」ができないことに、気づきました。
○ 速いテンポの時 小さく降る方法を学べました。
○ 基本の基本を教えていただきました。たいへん感激いたしました。
○ なかなか自分のくせがなおせませんが今後努力したいと思います。

7. 今後の本講習会へのご希望をお聞かせ下さい。

- 初心者とベテランの方と分けた講習会などを希望します。内容は、吹奏楽関連のどんなものでも...
○ 是非、実際のバンドを使用した講習会を。 ○ 変拍子などの振り方など、学べたらいいのですが...



★2. エリック・ミヤシロ EM BAND スペシャルライブ in 宇都宮 及び EM BAND メンバーによる楽器別クリニック 報告

平成22年1月10日（日） スペシャルライブ
平成22年1月11日（月・祝） ジャズ公開クリニック
会 場 宇都宮市文化会館 大ホール
主 催 EM BAND／ヤマハ株式会社
共 催 栃木県吹奏楽連盟
後 援 宇都宮市教育委員会／朝日新聞社／うつのみやジャズのまち委員会

エリック・ミヤシロ EM BANDのスペシャルライブが1月10日（日）に宇都宮市文化会館大ホールで開催され、およそ1000人の聴衆を前に国内ジャズシーンの精鋭を集めた最強ジャズオーケストラのグルーヴ感たっぷりのLIVEを堪能することができた。

また、翌11日（月・祝）にはエリック・ミヤシロ EM BANDのメンバーによる楽器別のクリニックが開催され、直に名プレイヤーのテクニックを体験した。日頃ジャズのクリニックにはなかなか縁がない中、一流のプレイヤーから直接指導を受けた中学生や高校生は目を輝かせて受講していた。

★3. 平成21年度 「第15回東関東吹奏楽アンサンブルコンテスト」 報告

主 催 東関東吹奏楽連盟
会 場 千葉県君津市民文化ホール

(1) 夢の舞台へ 一般の部今市ウィンドアンサンブル 木管七重奏
第15回東関東吹奏楽アンサンブルコンテスト 金賞 全国大会へ

毎回ちがうメンバー、毎回ちがう編成でコンテストに参加して10回目、やっと全国大会への切符を手にすることができます。

市販の楽譜から自分たちの編曲へ、決まった編成からそのときいちばんいい状態で演奏できる編成へと変わってきました。

今回はフルート3本、クラリネット3本とバスクラリネットという変則的な編成で、ドビュッシーの晩年の隠れた、しかし娘のエマへの愛情に満ちたかわいい名曲、バレエ音楽「おもちゃ箱」を編曲して演奏しています。

練習は演奏半分、議論半分といったところでしょうか。もともとパート譜には余白を多めに取ってあって、「変更」した音符を書き込めるようになっています。ひととおり演奏してみてから、本当の編曲がはじまるのです。

たとえばクラリネット3人でド・ミ・ソの和音を吹くとします。誰がどの音を担当するか、は6通り考えられますよね。私たちはその組み合わせを全部試してみて、残りの4人に聴いてもらい、いちばんいい音がする組み合わせを決めていくのです。それも、3オクターヴある音域のどの「ド」がいいか、「ミ」がいいか・・・。これを全曲やっていくので、5分間にも満たない曲を半年近く練習しても、まだまだ完成とはいえない状態です。この原稿を書いている前日の練習でも、ある部分を6通り試してみて、結局一番最初の半年前の組み合わせがいちばんいい、ということになって、みんな「一周したね！」と大笑いになってしまいました。

こうして県北大会と県大会、東関東大会とこのあとの全国大会、それぞれちがったアレンジで演奏しています。

東関東大会では練習場所やそこまでの道のりの下見、当日の昼食のメニューまであらかじめ周到に準備したにもかかわらず、本番当日朝に体調を崩したメンバーが病院で点滴を打ち、その送り迎えで練習ができないという最大の危機を迎えました。しかし彼女の「本番は絶対に全部吹きます」という言葉に全員むしろ奮い立ち、いつもより集中した演奏ができたと思います。当のメンバーもDVDでみる限り、とても病気とは思えない、バリバリの演奏ぶりです。

発表の瞬間の驚きとうれしさと誇らしい気持ちは忘れる事はできませんが、それよりも「やってきたことは間違いではなかったんだ！」という安堵のほうが大きかったです。

代表になったんだからもう充分だ、結果なんて何賞でもいいから晴れの舞台を楽しんでこよう、などとは誰も絶対に考えていません。

これだけの演奏をしたんだからもう充分だ、結果なんて何賞でもいい、と思える演奏をめざして、明日からもまたクラリネット6通りとフルート6通り、バスクラアリとなし、やってみます。

（2）日光市立今市第三小学校プラスバンド部金管八重奏

①第15回東関東アンサンブルコンテストに出場しての感想

「大切な私の思い出」 日光市立今市第三小学校プラスバンド部 6年 上村 紗祈

私達、今市第三小、金管八重奏は東関東アンサンブルコンテストで金賞を受賞することができました。練習では、先生に注意された事を全て完璧にすることを目標に努力しました。

そしてむかえた本番。周りの学校がとてもうまく、自分の思った通りの演奏ができなくなりそうなほど緊張しましたが、無事に演奏を終えることができました。そして、金賞という素晴らしい賞を頂くことができました。みんなで心を合わせ、練習をがんばってきて本当によかったです。学校初のアンサンブル金賞ということもあり、喜びもいっそう増しました。

小学校最後の大会でよい思い出ができるて本当によかったです。

②日光市立今市第三小学校プラスバンド部の東京ディズニーシーでの

演奏報告

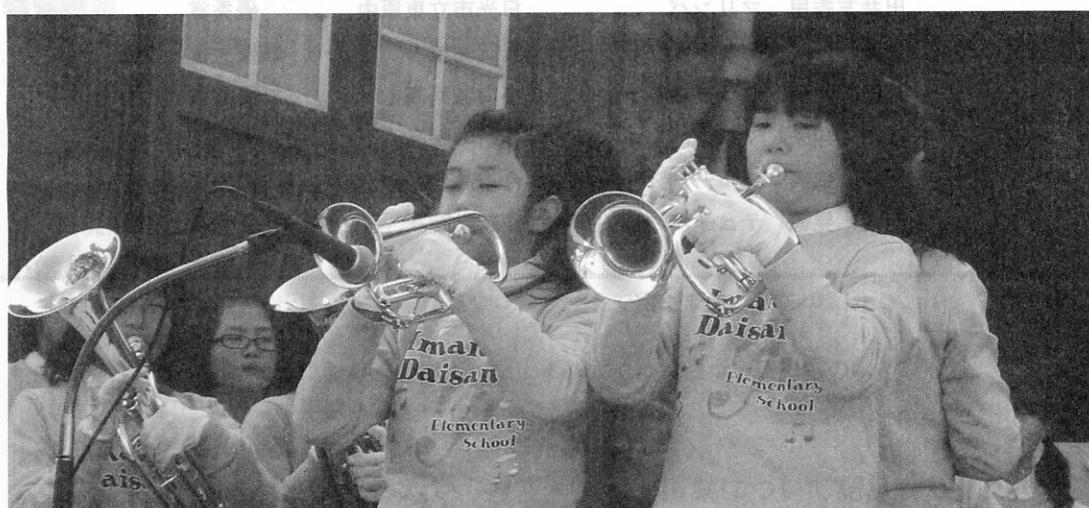
「あこがれのステージ」 日光市立今市第三小学校プラスバンド部 6年 斎藤佳那子

私達プラスバンド部は、二月二十日、東京ディズニーシーで演奏しました。

ディズニーシーで演奏するのは、今回で三回目でした。演奏するためにはオーディションがあり、合格しなくては演奏ができません。オーディションは今までに計六回受け、すべて合格し、ディズニーで演奏をすることができました。今年の演奏も、六年生最後なので期待がかかりました。

そして、船のレストランがあるステージで「パイレーツ・オブ・カリビアン」や「エルクンバンシェロ」などを楽しく演奏することができました。

そんな私達六年生も、三月で卒業ですが、今の五年生に望みをたくし、来年もディズニーで演奏できるよう頑張ってほしいです。



(3) 東関東アンサンブルコンテストに参加して

栃木県立今市高等学校吹奏楽部 顧問 柴田 高志

今回で15回目となる東関東アンサンブルコンテストに、本校吹奏楽部金管八重奏グループが県代表として参加してきました。開催地は千葉県の君津市民文化ホール。県大会終了後、「前回君津市で行われた時には雪が振って移動が大変だから、なるべく前泊しなさいと言われました」という生徒のうれしそうな顔を見て、学校と掛け合い前泊することを決めました。

今回は、練習してきたことをいかに本番で発揮するか、ということを常に考え、宿舎での練習からリハーサル・本番に臨みました。たった一回の演奏に練習の全てを注ぎ込み、満足のいく演奏をするということは、当たり前のことではあっても、なかなか上手くいくものではありません。スタイルに違いはありますが、今回参加していた各校も、同じように考え方行動していく、参考になる部分が大でした。（千葉県のN高校金管グループの服装がオーバーオールだったのも、そういった理由なんだろうか?!）本校のグループも功を奏したのか、練習ではできていなかった部分が成功するなど、自分たちなりに満足のいく演奏ができたようです。結果は残念でしたが、今回の経験が生徒たちの自信となり、次へのステップになっていくものと思います。

4. 第8回 中学生・高校生管打楽器ソロコンテスト結果について

平成22年2月28日（日）に東京の上野学園大学で実施された社団法人日本吹奏楽指導者協会関東甲信越支部第8回中学生・高校生管打楽器ソロコンテストの結果をお知らせ致します。

この大会では中学生の部に出場した宇都宮市立陽東中学校の「瀧本千里」さんが最優秀賞を受賞し、見事に全国大会への出場を果たしました。この中学生の部には各都県の代表30人が出場しましたが、日頃の努力の成果が実り、たった4人しか推薦されない全国大会への切符を手にしたわけです。本当におめでとうございました。3月26日（金）に静岡県浜松市のアクトシティ浜松で実施される第14回全日本中学生・高校生管打楽器ソロコンテストでの活躍をお祈り申し上げます。

中学生の部	細谷 友美	トロンボーン	真岡市立大内中	優秀賞
	瀧本 美里	フルート	宇都宮市立陽東中	最優秀賞
	瀧本 千里	クラリネット	宇都宮市立陽東中	最優秀賞 全国大会出場
	沼尾真理菜	トランペット	日光市立今市中	最優秀賞
	出井友香里	マリンバ	日光市立東原中	優秀賞
高校生の部	飯野 諒	アルトサクソфон	真岡高校	最優秀賞 次点
	森田 萌	クラリネット	小山城南高	優秀賞
	福田 翔子	マリンバ	作新学院高	優秀賞
	伊藤 仁美	フルート	今市高	優秀賞
	西岡 晃徳	テューバ	作新学院高	優秀賞

講習会・クリニック情報

①栃木県リーダー講習会

平成22年3月20日（土）・21日（日） 宇都宮市文化会館

モデルバンド 埼玉栄高等学校吹奏楽部 指導 大滝 実先生

3月20日（土）埼玉栄高等学校吹奏楽部とモデルバンドによるセッションスタディ

3月21日（日）☆木管合奏の基礎：内山 洋先生 ☆金管合奏の基礎：久保義一先生

☆打楽器合奏の基礎：平子久江先生 ☆サクソフォーン講習：波多江史朗

☆金管低音講習：渡辺 功先生

☆小学校バンド講師：浅野 正樹氏

☆基礎バンド指導：後藤 洋氏「二人からの音楽の楽しみ」

～初級バンド指導・楽曲紹介～（バンド指導の悩み何でも相談コーナー）

★常設展示：楽譜（視聴可）

②2010ジャパン・バンド・クリニック

平成22年5月14日（金）～16日（日）

場 所：アクトシティ浜松 静岡県浜松市中区板屋町111-1

内 容：小学校から一般・マーチングまで、管楽器活動の総合クリニックです

具体的な講習の内容を紹介します

レパートリー研究講座Ⅰ・Ⅱ

クリニック委員会顧問加養浩幸氏、クリニック委員後藤洋氏による解説でモデルバンドの演奏による
2010年の新譜と話題作品を紹介（協力：昭和音楽大学、浜松交響吹奏楽団）

音楽料理法講座

クリニック委員会名誉顧問保科洋氏による、音楽づくりにおけるフレーズの表現についてオーケストラの演奏を交えた研修（協力：千葉県立幕張総合高等学校）

指揮法講座

指揮者时任康文氏による指揮法講座（ピアノ2台による指揮伴奏）

合奏指導法講座

田中一宏氏、吉田淳一氏による合奏指導実践講座（協力：石川県中学校選抜吹奏楽団）

ポップス講座

サックス奏者織田浩司氏によるジャズやポップスのおしゃれな演奏と楽しいステージングの仕立て方

特別講座

「バンド活動の魅力を語る」をテーマにクリニック委員会顧問丸谷明夫氏に語っていただきます

マーチング講座Ⅰ・Ⅱ

バンドクリニック委員山崎昌平氏と福島格史氏によるモデルバンドを使ってのステージドリルの実践指導（協力：千葉県立幕張総合高等学校）

田中久仁明氏による効果的なドリルデザインの初步指導

生乃久法氏によるマーチングパーカッションの指導法講座

小学校指導者講座Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

「楽曲紹介」座間吉弘氏による学校行事やコンサートで活用できる楽曲の紹介（協力：浜松プラスバンド）

「合奏指導法」クリニック委員石田修一氏による『すぐに役立つ合奏指導のポイント』（協力：浜松市立瑞穂小学校）

「みんなで語ろう 楽しいバンド活動のために」～

講師を交えて、運営・指導・授業について語り合う参加型講座

楽器別講座

【オーボエ講座】

東京佼成ウインドオーケストラオーボエ奏者及び副コンサートマスターの宮村和宏氏による講座

【トロンボーン講座】

元ジュリアード音楽院教授、リンカーンセンタージャズオーケストラ、ウィントンマルサリスSeptet前メンバー、トロンボーン奏者のワイクリフ・ゴードン氏による講座

♪公開リハーサル

東海大学付属第四高等学校によるコンサート直前の様子を公開 鳴るほど楽器学講座（金管楽器編）

金管楽器設計者松隈義彦氏が金管楽器の歴史や構造を分かりやすく解説

♪初めての指導

～初めて吹奏楽の指導に携わる先生やこれから指導者を目指す方々のための講座です～

- ・演奏の前にI：打楽器のチェック、II：管楽器のチェック
- ・フルート、クラリネット、サックス、金管楽器、打楽器、マーチングの各講座
- ・合奏法

♪オープニングコンサート

屋外サンクンプラザにて千葉県立幕張総合高等学校によるコンサート（雨天時中ホール）

♪ウェルカムコンサート

千葉県立幕張総合高等学校、東海大学付属第四高等学校、ゲストにオーボエ奏者宮村和宏氏を迎えた新譜を含めたコンサート

♪イブニングコンサート

トロンボーン奏者ワイクリフ・ゴードン氏のコンボスタイルによるコンサートと航空自衛隊航空中央音楽隊による新譜を含めたコンサート

♪ファイナルコンサート

浜松市小学校合同吹奏楽団、石川県中学校選抜吹奏楽団と昭和音楽大学による新譜を含めたコンサート

♪管楽器工場見学（5/14参加希望者・要事前申込）

楽譜、CD、展示・販売・相談コーナー

楽器展示・試奏・相談コーナー

大学、専門学校、出版、各種団体等コーナー

昨年度の参加者：東関東吹奏楽連盟を通して、本県吹奏楽連盟からの参加者は、下記の通りでした。

栃木県 26名 (茨城県 19名、千葉県 70名、神奈川県 28名、計 143名)

コンサート情報

3月22日（月・祝）宇都宮市立城山中学校吹奏楽部「第2回定期演奏会」

14時開演 栃木県教育会館 入場無料

3月27日（土）宇都宮大学教育学部附属中学校合唱部・吹奏楽部「ジョイントコンサート」

13時30分開演 栃木県教育会館 入場無料

3月28日（日）矢板中学校吹奏楽部「第16回定期演奏会」

14時開演 矢板市文化会館 入場無料

ゲスト：サクソフォン・大貫 茜

5月3日（月・祝）創立30周年記念 栃木県立宇都宮北高等学校吹奏楽部「第24回定期演奏会」

13時30分開演 宇都宮市文化会館

指定席券￥1200一 一般券（自由席）￥800一

高校生以下券（自由席）￥500一 当日券各200円増

ゲスト：ピアノ・日下さち子 クラリネット・木主 里絵

6月20日（日）栃木県立茂木高等学校音楽部「第4回演奏会」

14時開演 益子町民会館 入場無料

編集後記

平成21年度の活動も締めくくりの時期を迎えました。

それぞれどのような一年だったでしょうか？

年度当初に立てた目標はどの程度達成できたでしょうか？

活動中の部員達の表情は楽しそうで活き活きしていたでしょうか？

様々な思いが駆けめぐっていることでしょうが、この年度末の機会にまた新たな目標を掲げて、その達成のために思いっきり青春してみてはいかがでしょうか。

ところで、筆者の部員で、ある一人の三年生部員を紹介させていただこうと思います。本校では、三年生だからといって、必ずしもコンクールの舞台に立てるとは限りません。ただ、できるだけ最上級生には多くの苦労をしてきた分、コンクールのステージでは存分に輝かせてあげたいという基本的なスタンスで臨んでいます。しかしながら、そうはいってもやはり色々な事情でコンクールのステージに立つことなくメンバーからはずれてしまう者がいます。

この部員は残念ながら努力が報われずにメンバーには入れませんでした。その後きっと苦しいことや辛いことの方が多かったはずなのですが、決して腐ることなく自分の役割を良く理解し、十分に責任を果たしました。とりわけ、31年ぶりに出場した硬式野球部の甲子園での応援ではコンクールの県大会の日程と重なったこともあり、わずか20人ほどのメンバーでの応援でしたが、炎天下の中、見事なリーダーシップを発揮しました。しかもこの遠征は2日間の雨天順延もあり、大変な思いをしたでしょうが、見事にやり抜きました。また、2年連続8度目の全国優勝を飾った軟式野球部の応援では8日間という長期の遠征（兵庫県明石市）になりましたが、同様に吹奏楽部のリーダーとして立派に責務を果たしました。この時もコンクールのメンバーに選ばれなかった20人ほどの編成でしたが、互いに支え合い、励まし合い、好ましい方向に進んで行く先導者として皆を牽引しました。よくぞたった一人の3年生が下級生達を引っ張りました。

生徒達は私たち指導者の気がつかないところで、表舞台には立てずとも、しっかりと自分の果たすべきポジションをしっかりと把握して、主体的に活き活きと活動しているのだと気がつかされた思いでした。

もうすぐ4月になり、新入生が入学してきます。春休み中にパワーアップして来たるべき次のシーズンに備えましょう。

広報部長 三橋英之（作新学院高校）